

輸送動向について（9月分）

平成24年10月

1. 輸送概況

今月は、中旬に江差線において貨物列車の脱線事故が発生したほか、下旬には台風17号の上陸に伴う輸送障害もあり、月全体では高速貨323本が運休となった。

荷動きについては、東日本大震災からの企業の生産回復に加え、中旬以降、記録的な残暑となり飲料水等の季節物資の出荷が好調となった。また、前年は大型台風が2度にわたり上陸し、輸送障害の影響を強く受けた反動もあり、月全体では前年を大きく上回った。

コンテナ貨物は、紙・パルプ、食料工業品などすべての品目が前年を上回り、全体では108.9%となった。紙・パルプは前年の震災による出荷減の反動に伴い、大きく増送となった。また、食料工業品は残暑により清涼飲料水等の出荷が好調となり増送となった。

車扱貨物は、石油が一部区間での輸送終了及び需要の減少により前年を下回ったものの、セメント・石灰石が前年の台風12号に伴う線路の不通による反動で増送となり、全体では前年比101.5%となった。なお、震災により被災した仙台臨海鉄道(株)仙台北港駅は7日に鉄道輸送を再開し、関東発東北向けの石油輸送は終了した。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,717	1,577	108.9%	10,018	9,223	108.6%
車 扱	683	673	101.5%	3,983	4,228	94.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増 減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	175	171	4	102.3%
	化学工業品	162	153	9	105.9%
	化学薬品	118	112	6	105.4%
	食料工業品	258	240	18	107.5%
	紙・パルプ	250	212	38	117.9%
	他工業品	138	132	6	104.5%
	積合せ貨物	160	150	10	106.7%
	自動車部品	76	73	3	104.1%
	家電・情報機器	41	33	8	124.2%
	エコ関連物資	39	26	13	150.0%
	その他の	300	275	25	109.1%
コンテナ計	1,717	1,577	140	108.9%	
車 扱	石油	416	494	-78	84.2%
	セメント・石灰石	128	57	71	224.8%
	車 両	77	68	9	113.7%
	その他の	62	54	8	113.5%
	車 扱 計	683	673	10	101.5%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)